

中学2年生が情報講座（プログラミング）を行いました

令和6年10月25日（金）に、福野泰介先生（株式会社 jig.jp）をお招きし、プログラミング講座を行いました。Society5.0の時代が到来し誰もが情報を発信できるツールを持っている今、どのようにオープンデータを利用していくべきかを考える機会になりました。

福野先生がプログラミングを誰でも手軽に使えるようにするために、ご自身で2014年4月1日に開発した ichigojam を利用して、ChromeBook でゲームを創ることから始めました。キャラクタをつかったり、動きを決めたりするプログラミング言語をキーボードで入力しながら1つずつ進めていきました。たった8行のプログラムでゲームができると歓声上がり、自分なりに改良を加えている生徒もいました。

後半は、HTMLでウェブサイトづくりをしました。初心者にはハードルが高いHTMLですが、ウェブアプリを利用することで、どの生徒もオリジナルのサイトを作っていました。課題を発見したら、解決に向けてのアイデアを具体化しイノベーションにつなげることが重要で、アプリを利用することで誰にでもイノベーションを起こすことが可能な時代になったことが分かる講座になりました。



（生徒感想）

- ・私は、機械を扱うのが苦手な指示通りできるか不安でしたが、楽しみでもありました。実際は丁寧な説明と分かりやすいスライドで、苦手な私でも楽しく学びある時間を過ごすことができました。また、ゲームやアプリが簡単に作れると知ってとても驚きました。しかし、高度なゲームやアプリを作るには、やはり高度な技術を持った人たちが必要なんだと改めて感じました。これからも時間を見つけてプログラミングについて学習したいです。
- ・今まで、スクラッチみたいに簡単なプログラミングしか触れたことがなかったので、今回本格的なプログラミングを学ぶことができ良かったです。また、ウェブサイトやアプリをつくることは難しいことだと思っていたので、つくることができて楽しかったです。今後も、実際自分でつくってみたいです。